

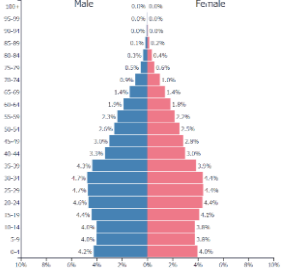




# マレーシアの概要

作成 クレアシンガポール事務所 更新日2020年6月

1. 国概要		出典	
正式名	マレーシア		
国旗	位置図		
		①	
面積	約33万平方キロメートル(日本の約0.9倍)	①	
首都	クアラルンプール	①	
人口	3,260万人(2019年マレーシア統計局) 	⑤ ⑨	
民族	マレー系(約69%)、中国系(約23%)、インド系(約7%) (注:マレー系には中国系及びインド系を除く他民族を含む)	①	
公用語	マレー語(国語)、中国語、タミール語、英語	①	
宗教	イスラム教(連邦の宗教)(61%)、仏教(20%)、儒教・道教(1.0%)、 ヒンドゥー教(6.0%)、キリスト教(9.0%)、その他	①	
通貨(為替レート)	1リンギット=約24.6円 (2019年5月29日終値(マレーシア中央銀行))	①	
略史	15世紀初め	マラッカ王国成立	①
	16世紀～17世紀	ポルトガル、オランダ東インド会社によるマラッカ支配	
	1824年	英蘭協約によりマレー半島及びボルネオ島西北部が英国の勢力範囲下となる。イギリスによる植民地支配。	
	1942年～1945年	日本軍による占領	
	1948年	英領マラヤ連邦形成	
	1957年	マラヤ連邦独立	
	1963年	マレーシア成立(シンガポール、サバ、サラワクを加える)	
	1965年	シンガポールが分離、独立。	

政治																
政体	立憲君主制(議会制民主主義)	①														
元首	アブドゥラ第16代国王 (2019年1月就任, 任期5年, 統治者会議で互選。パハン州スルタン)	①														
議会	二院制 上院:70議席、任期3年。44名は国王任命、26名は州議会指名 下院:222議席、任期5年。直接選挙(小選挙区制)	①														
政府	首相:ムヒディン・ヤシン(2020年3月就任) 外相:ヒシャムディン・フセイン(2020年3月就任)	①														
地方自治制度	<p>【州政府(13州)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各州は、自治体ではなく、連邦を構成する準国家</li> <li>元首を有し、独自の州憲法を制定している。</li> </ul> <p>【連邦地域(3か所)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>首都など特別な地域を対象に連邦地域(Federal Territory)を設置</li> </ul> <p>【地域レベル】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>議会が議決機関と執行機関を兼ねており、議会の長及び議員は州による任命制</li> <li>州による指導監督</li> <li>人口、歳入規模等の条件により、特別市、市、町に区別される。</li> <li>ごみ収集や道路・水路清掃、公衆衛生、公園の整備など基礎的なインフラ整備などの住民サービスを提供</li> </ul>															
経済																
主要産業	製造業(電気機器)、農林業(天然ゴム、パーム油、木材)及び鉱業(錫、原油、LNG)	①														
実質経済成長率(%)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>実質経済成長率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2014</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>2015</td> <td>5.1</td> </tr> <tr> <td>2016</td> <td>4.2</td> </tr> <tr> <td>2017</td> <td>5.9</td> </tr> <tr> <td>2018</td> <td>4.7</td> </tr> <tr> <td>2019</td> <td>4.3</td> </tr> </tbody> </table>	年	実質経済成長率(%)	2014	6.0	2015	5.1	2016	4.2	2017	5.9	2018	4.7	2019	4.3	②
年	実質経済成長率(%)															
2014	6.0															
2015	5.1															
2016	4.2															
2017	5.9															
2018	4.7															
2019	4.3															
物価上昇率(%)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>物価上昇率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2014</td> <td>3.2</td> </tr> <tr> <td>2015</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>2016</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>2017</td> <td>3.7</td> </tr> <tr> <td>2018</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>2019</td> <td>0.7</td> </tr> </tbody> </table>	年	物価上昇率(%)	2014	3.2	2015	2.1	2016	2.1	2017	3.7	2018	1.0	2019	0.7	②
年	物価上昇率(%)															
2014	3.2															
2015	2.1															
2016	2.1															
2017	3.7															
2018	1.0															
2019	0.7															

一人当たりGDP(名目、USD)	<p style="text-align: center;"><b>一人当たりGDP (名目、USD)</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Year</th> <th>Value (USD)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2014</td><td>11,014</td></tr> <tr><td>2015</td><td>9,516</td></tr> <tr><td>2016</td><td>9,397</td></tr> <tr><td>2017</td><td>9,833</td></tr> <tr><td>2018</td><td>10,942</td></tr> <tr><td>2019</td><td>11,198</td></tr> </tbody> </table>	Year	Value (USD)	2014	11,014	2015	9,516	2016	9,397	2017	9,833	2018	10,942	2019	11,198	②							
Year	Value (USD)																						
2014	11,014																						
2015	9,516																						
2016	9,397																						
2017	9,833																						
2018	10,942																						
2019	11,198																						
失業率(%)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Year</th> <th>Value (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2014</td><td>2.9</td></tr> <tr><td>2015</td><td>3.1</td></tr> <tr><td>2016</td><td>3.4</td></tr> <tr><td>2017</td><td>3.4</td></tr> <tr><td>2018</td><td>3.3</td></tr> <tr><td>2019</td><td>3.3</td></tr> </tbody> </table>	Year	Value (%)	2014	2.9	2015	3.1	2016	3.4	2017	3.4	2018	3.3	2019	3.3	②							
Year	Value (%)																						
2014	2.9																						
2015	3.1																						
2016	3.4																						
2017	3.4																						
2018	3.3																						
2019	3.3																						
総貿易額 (100万USD)	<p style="text-align: center;"><b>総貿易額</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Year</th> <th>Series 1 (100万USD)</th> <th>Series 2 (100万USD)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2014</td><td>234,039</td><td>208,950</td></tr> <tr><td>2015</td><td>199,248</td><td>176,088</td></tr> <tr><td>2016</td><td>189,868</td><td>188,722</td></tr> <tr><td>2017</td><td>217,827</td><td>194,843</td></tr> <tr><td>2018</td><td>247,519</td><td>217,606</td></tr> <tr><td>2019</td><td>238,189</td><td>205,012</td></tr> </tbody> </table>	Year	Series 1 (100万USD)	Series 2 (100万USD)	2014	234,039	208,950	2015	199,248	176,088	2016	189,868	188,722	2017	217,827	194,843	2018	247,519	217,606	2019	238,189	205,012	②
Year	Series 1 (100万USD)	Series 2 (100万USD)																					
2014	234,039	208,950																					
2015	199,248	176,088																					
2016	189,868	188,722																					
2017	217,827	194,843																					
2018	247,519	217,606																					
2019	238,189	205,012																					
貿易品目	<p>(1)輸出:電気製品、パーム油、化学製品、原油・石油製品、LNG、機械・器具製品、金属製品、科学光学設備、ゴム製品等  (2)輸入:電気製品、製造機器、化学製品、輸送機器、金属製品、原油・石油製品、鉄鋼製品、科学光学設備、食料品等</p>		①																				
主要貿易相手国	<p>(1)輸出:中国・シンガポール・米国(2019年)  (2)輸入:中国・シンガポール・米国(2019年)</p>		②																				

2.日本とのかかわり		出典																					
大使館	クアラルンプール	④																					
大使	岡浩(2019年10月～)	④																					
進出企業数	1,385社(製造業691社、非製造業681社、その他13社)(2018年9月時点)	②																					
日系レストラン数	811店舗(2020年現在)	⑫																					
日本企業の投資件数と投資額(製造業)	件数:28件 金額:34億8,600万リンギット(2019年1～9月)	②																					
在留邦人数	約26,555人(2018年10月現在)	①																					
在日留学生数	3,052人(2019年5月現在)	①																					
観光																							
訪日旅行者数(人)	<table border="1"> <caption>訪日旅行者数</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>訪日旅行者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2014</td> <td>249,521</td> </tr> <tr> <td>2015</td> <td>305,447</td> </tr> <tr> <td>2016</td> <td>394,262</td> </tr> <tr> <td>2017</td> <td>439,548</td> </tr> <tr> <td>2018</td> <td>468,360</td> </tr> <tr> <td>2019</td> <td>501,592</td> </tr> </tbody> </table>	年	訪日旅行者数(人)	2014	249,521	2015	305,447	2016	394,262	2017	439,548	2018	468,360	2019	501,592	③							
年	訪日旅行者数(人)																						
2014	249,521																						
2015	305,447																						
2016	394,262																						
2017	439,548																						
2018	468,360																						
2019	501,592																						
旅行形態	マレーシア人 : 団体(21.7%) 個人(78.3%) 外客全体 : 団体(21.3%) 個人(78.7%)	③																					
貿易																							
日本との貿易(億円)	<table border="1"> <caption>日本との貿易</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>輸出(億円)</th> <th>輸入(億円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2014</td> <td>14,239</td> <td>29,353</td> </tr> <tr> <td>2015</td> <td>11,996</td> <td>21,484</td> </tr> <tr> <td>2016</td> <td>12,125</td> <td>17,214</td> </tr> <tr> <td>2017</td> <td>12,745</td> <td>19,235</td> </tr> <tr> <td>2018</td> <td>13,944</td> <td>18,943</td> </tr> <tr> <td>2019</td> <td>15,762</td> <td>15,353</td> </tr> </tbody> </table>	年	輸出(億円)	輸入(億円)	2014	14,239	29,353	2015	11,996	21,484	2016	12,125	17,214	2017	12,745	19,235	2018	13,944	18,943	2019	15,762	15,353	②
年	輸出(億円)	輸入(億円)																					
2014	14,239	29,353																					
2015	11,996	21,484																					
2016	12,125	17,214																					
2017	12,745	19,235																					
2018	13,944	18,943																					
2019	15,762	15,353																					
日本の主要輸出入品目	<p>(1)輸出 電気機器(24.5%)、一般機械(14.2%)、輸送機器(14.0%) 鉄鋼(7.9%)、非鉄金属(5.5%)</p> <p>(2)輸入 液化天然ガス(30.5%)、電気機器(27.5%) 一般機械(4.4%)、木製品およびコルク製品(家具を除く)(4.3%) 石油および同製品(4.1%)、プラスチック(2.9%)</p> <p style="text-align: right;">※2018年現在</p>	②																					

3.自治体の活動				出典
自治体交流				
姉妹自治体	県名	自治体名称	提携自治体名	州・省・県等名
	福岡県	福岡市	イポー	ペラ州
	鹿児島県	日置市	スパンジャヤ市	スランゴール州
	埼玉県	三芳町	ベタリンジャヤ市	セランゴール州
	岡山県	笠岡市	コタバル市	ケランタン州
トップセールス実績 (渡航通知ベース)	(2019年)			
	<p>7月 福岡県あわら市、勝山市、坂井市、永平寺市、石川県加賀市 (5市町で構成する「越 前加賀インバウンド推進機構」が5市町の首長によるトップセールス)</p> <p>7月 岐阜県名務原市(国王(前アジアホッケー連盟会長)との謁見 等)</p> <p>8月 東京都葛飾区(ペナン島市長表敬 等)</p> <p>10月 大阪府泉佐野市(ペナン市長表敬 他)</p> <p>11月 北海道苫小牧市(苫小牧港のポートセールス)</p> <p>11月 北海道函館市(メディア等訪問、観光客誘致)</p> <p>11月 長野県池田町(農作物・日本酒などの販路拡大)</p> <p>12月 福岡県福岡市(姉妹都市締結周年行事出席)</p> <p>12月 茨城県坂東市(クアラルンプール市視察)</p>			
JET参加者の数(2019年7月現在)	2名	ALT 0名	累計 0名	
		CIR 2名	累計 8名	
SEA 0名		累計 1名	※計 9名	
JETAA支部	-			⑥
クレア関連事業	<p>●地域間交流促進プログラム</p> <p>2019年 シンガポール、マレーシア</p> <p>2016年 シンガポール、マレーシア</p> <p>2014年 マレーシア(クアラルンプール、ジョホールバル)</p> <p>●大学セミナー</p> <p>2018年 マレーシア北大学(ケダ州)</p> <p>2017年 マレーシア北大学(ケダ州)</p> <p>2015年 マレーシア理科大学(ペナン)、クアラルンプール市役所</p> <p>2014年 マレーシア北大学(ケダ州)</p> <p>●日本ふるさと名産食品展</p> <p>2019年 マレーシア(クアラルンプール)</p> <p>2018年 マレーシア(クアラルンプール)</p> <p>2017年 マレーシア(クアラルンプール)</p> <p>●専門家派遣事業</p> <p>2019年 マレーシア(セラヤン市)大阪府</p> <p>2017年 マレーシア(クアラルンプール)京都府</p> <p>2016年 マレーシア(クアラルンプール)千葉県千葉市</p> <p>2014年 マレーシア(クアラルンプール)大分県別府市</p>			

4.その他渡航情報		出典
入出国	90日以内の滞在であればビザは不要 (注) コロナウイルスを踏まえた最新の状況は大使館HP等で確認してください	
旅券の残存期間	入国時6か月以上 (注) コロナウイルスを踏まえた最新の状況は大使館HP等で確認してください	
日本との時差	-1時間	
祝日(2020年)	1月1日(水) 新年 1月25日(土)～26日(日) チャイニーズ・ニュー・イヤー(旧正月) 5月1日(金) メーデー 5月7日(木) ウェサック・デー(釈迦誕生祭) 5月24日(日)～25日(月) ハリ・ラヤ・プアサ(断食明け大祭) 6月6日(土) 国王誕生日 7月31日(金)～8月1日(土) ハリ・ラヤ・ハジ(犠牲祭) 8月20日(木) イスラム暦新年 8月31日(月) 国家記念日 9月16日(水) マレーシア・デー 10月29日(木) ムハンマド誕生祭 11月14日(土) ディーパバリ 12月25日(金) クリスマス	
予防接種の必要性	A型肝炎、B型肝炎、破傷風、(日本脳炎*1) *1: マレーシアで、クアラルンプールなどの主要都市以外へ長期滞在する場合は推奨。	⑧
気候	熱帯気候	
電話の掛け方	国際電話会社の番号+60(国番号)+最初の0を取った電話番号	
電力	電圧は220V、50ヘルツ、コンセントは三つ穴のBFタイプが多く、日本の携帯電話やカメラ等の充電器は240Vまで利用可能なものが多く、その場合は変換プラグのみ準備すれば大丈夫ですが、ドライヤーやヘアアイロン等220Vの電圧に対応していない電化製品は、変圧器が必要です。	
水道水	水道水は避ける。ミネラルウォーターを飲用した方がよい	
日本からのフライト時間	直行便で約7時間10分(東京～クアラルンプール)	

【出典】

- ①外務省HP <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/malaysia/index.html>
- ②JETROHP [https://www.jetro.go.jp/world/asia/my/basic\\_01.html](https://www.jetro.go.jp/world/asia/my/basic_01.html)
- ③JNTO [https://www.into.go.jp/ipn/inbound\\_market/index.html?tab=block1](https://www.into.go.jp/ipn/inbound_market/index.html?tab=block1)
- ④在マレーシア日本国大使館HP [http://www.my.emb-japan.go.jp/itprtop\\_ja/index.html](http://www.my.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html)
- ⑤人口ピラミッド <https://www.populationpyramid.net/ja/%E3%83%9E%E3%83%AC%E3%83%BC%E3>
- ⑥JETHPより <http://jetprogramme.org/ja/>
- ⑦農水省資料 [http://www.kantei.go.jp/jp/singi/nousui/kyouka\\_wq/dai10/siryou4\\_b1-6.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/nousui/kyouka_wq/dai10/siryou4_b1-6.pdf)
- ⑧厚生労働省検疫所HP [http://www.forth.go.jp/destinations/country/malaysia\\_singapore.html](http://www.forth.go.jp/destinations/country/malaysia_singapore.html)
- ⑨マレーシア統計局HP <https://www.dosm.gov.my/v1/index.php>
- ⑩マレーシア中央銀行HP [https://www.bnm.gov.my/index.php?ch=statistic&pg=stats\\_exchangerates](https://www.bnm.gov.my/index.php?ch=statistic&pg=stats_exchangerates)
- ⑪マレーシア投資開発庁HP <https://www.mida.gov.my/home/about-mida/posts/?lq=JPN>
- ⑫外務省調べ、農水省推計値を参考にJ. CLAIRシンガポールが推計